



作品タイトル

IVRC2013 参加作品：チーム チーム名

English Title

バーチャル太郎¹⁾, 現実育子²⁾

Taro VIRTUAL and Yasuko GENJITSU

1) 東京大学 工学系研究科

(〒113 東京都文京区本郷 7-3-1, vrsj@star.t.u-tokyo.ac.jp)

2) 人工現実感研究所

(〒113 東京都文京区弥生 2-11-16, vrsjac@cyber.rcast.t.u-tokyo.ac.jp)

概要: 日本バーチャルリアリティ学会大会論文集はカメラレディ原稿から作成されます。タイトル・発表者名・所属や本文のフォーマットについてはこのサンプル原稿に記述されている内容に従って下さい。ここには明朝体 9pt. 250 文字程度で和文要旨を書いて下さい。

キーワード: 3~4 個の日本語キーワード

1. はじめに

このファイルは第 18 回日本バーチャルリアリティ学会大会論文集の投稿用原稿を作成するために必要とされるレイアウトやフォント等の基本的な情報が記述されているサンプル原稿です。

原稿は口頭発表を伴う場合は **A4 サイズ 2 段組, 2 ページ**もしくは **4 ページ**, 学術展示のみの場合は **A4 サイズ 2 段組, 1 ページ**または **2 ページ**にまとめて下さい。それ以外のページ数では受け付けられませんのでご注意下さい。上下辺, 左右辺ともマージンは **2cm** とします。ヘッダー, フッターは設けません。文字は 25 文字 + 2 文字 + 25 文字の横 2 段組とし, 50 行 (行間約 14.4pt.) で作成して下さい。ページ番号は記入しないで下さい。

2. 各部分のレイアウトとフォントについて

2.1 タイトル部

タイトル部は例のように 1 段組として下さい。1 ページ目の左上には, 日本バーチャルリアリティ学会のロゴマーク (**VRSJ ロゴ**) を縦 1cm × 横 2cm 程度の大きさになるように張り付けて下さい。VRSJ ロゴについては, 日本バーチャルリアリティ学会ホームページ (<http://www.vrsj.org/>) 等をご参照下さい。また, 1 ページの 1 行目のみに, 例のように右に詰めて, 「**第 18 回日本バーチャルリアリティ学会大会論文集 (2013 年 9 月)**」と **ゴシック体 9pt.** を用いて記入して下さい。

次に 1 行あけてタイトルを記述して下さい。タイトルは **ゴシック体 18pt.** を用い, センタリングにして下さい。

1 行あけて英文タイトルを Times 10pt. のフォントを用い, 単語の先頭は大文字で, センタリングにして下さい。

1 行あけて, 例のように著者名を明朝体 10pt. を用いて記述し, センタリングにして下さい。次の行に Times 10pt. を用いて英文の著者名を記入して下さい。

1 行あけて著者の所属を明朝体 9pt. を用いて記入し, センタリングにして下さい。複数の著者の所属が異なる場合には, 例のように著者名に付けた片カッコ付き数字を付けて対応させて記入して下さい。

1 行あけて和文概要を, 明朝体 9pt. を用いて記入して下さい。'概要' という文字は **ゴシック体** にします。このとき, 左右を明朝体 9pt. で 5 文字程度空けるようにして下さい。次の行に 3~4 個のキーワードを例のように明朝体 9pt. にて記入して下さい。'キーワード' という文字は **ゴシック体** にします。

2.2 本文の部分

キーワードの後, 2 行あけて本文に移ります。本文は横 2 段組, 50 行 (行間約 14.4pt.), 明朝体 9pt. で作成して下さい。

3. 見出し (見出しが複数行に渡る場合には, このようにインデントを付ける)

3.1 章の見出し

見出しのレベルは 3 段階とし, 第 1 レベル (章) は, 上に 1 行あけて **ゴシック体 10pt.** により「**3. 章の見出し**」のように記入して下さい。

3.2 節の見出し

第2レベル(節)の見出しは前後に空白行を設けず、ゴシック体9pt.により「3.2 節の見出し」のように記入して下さい。

3.2.1 項の見出し

第3レベル(項)の見出しも前後に空白行を設けず、ゴシック体9pt.により「3.2.1 項の見出し」のように記入して下さい。



図1: 図のキャプションは図の下に置く

4. 数式および数学記号

数式はセンタリングし、式番号はカッコ付きの通し番号で右詰めとして下さい。

$$F(x) = \frac{a}{\sqrt{a+b}} \int_a^b g(t) dt \quad (1)$$

また、数式の前後には空白行を1行設けて下さい。

5. 図表

図表は、図1のように、本文中で引用した箇所に近い場所に置くことを原則とします。原稿末尾にまとめて置くことはさけて下さい。図の前後には空白行を1行設け、図のキャプションは図の下に、表のキャプションは表の上に置いて下さい。図番号、表番号は通し番号とし、ゴシック体9pt.で記入して下さい。

表1: 表のキャプションは表の上に置く

| No. | real | estimated |
|-----|------|-----------|
| 1 | 1.5 | 1.2 |
| 2 | 2.5 | 2.3 |
| 3 | 3.5 | 3.4 |

6. 最終ページのレイアウト

最後のページは左右の段落ができるだけそろるように調整して下さい。参考文献は出現順に番号を付け、該当個所に[1][2][3][4]の用にカギカッコで指示して下さい。

参考文献の引用リストは例を参考にして、文末に1行あけ、ゴシック体10pt.センタリングで「参考文献」と記した後に、番号順に記入して下さい。姓名の記法や誌名巻号の略記法など形式について厳密な指定はありませんが、リストの中で統一を取るようして下さい。

なお、この原稿はLaTeX2eを用いて作成したものです。この原稿は本執筆要領に基づいて作成されたサンプル原稿の一つであり、本スタイルファイルを使用する義務は全くありません。また、本スタイルファイルを使用することで発生するいかなる不具合についても対処することはできません。

謝辞 謝辞は結論の後に書いて下さい。

付録 付録は参考文献の前に書いて下さい。

参考文献

- [1] バーチャル太郎, 現実花恵: 日本バーチャルリアリティ学会大会論文集の書き方, 日本バーチャルリアリティ学会第1回大会論文集, pp. 1-2, 1996.
- [2] バーチャル太郎, 現実花恵: 日本バーチャルリアリティ学会投稿論文の書き方, 日本バーチャルリアリティ学会論文誌, Vol. 1, No. 2, pp. 201-206, 1996.
- [3] バーチャル太郎, 現実花恵: 日本バーチャルリアリティ学会解説の書き方, 日本バーチャルリアリティ学会誌, Vol. 2, No. 4, pp. 11-16, 1997.
- [4] 人工現太郎, 実 感子: 日本バーチャルリアリティ学会大会論文の書き方, 日本バーチャルリアリティ学会大会論文集, Vol. 4, pp. 1-2, 1999.